

# 『e-learning ストレスマネジメントプログラム の効果評価』にご協力いただいた方へ

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野・精神看護学分野では、  
『e-learning ストレスマネジメントプログラムの効果評価』を実施しています。

## 【研究課題】

e-learning ストレスマネジメントプログラムの効果評価 11210

## 【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学大学院医学系研究科・精神保健学分野

研究責任者 川上憲人・東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野・教室・教授

担当業務 データ解析、論文執筆等の指導

## 【共同研究機関】

研究機関 インフォコム株式会社

担当業務 データの収集、匿名化

## 【研究期間】

2016年6月-2021年6月

## 【対象となる方】

2016年6月～2016年12月の間に、インフォコム株式会社における従業員の方で、調査票（あるいは面接）に回答した方。

## 【研究の意義】

本研究では、どのストレスマネジメントプログラムをどの状態の労働者に推奨すると、最も効果的であるかについて、明らかにすることで、労働者のメンタルヘルスの保持増進に貢献します。

## 【研究の目的】

本研究の目的は、企業が実施する労働者向け e-learning ストレスマネジメントプログラムの効果検討を行い、どのような心理的状态の労働者に対して、どのようなストレスマネジメントプログラムが有効かを明らかにすることにしました。

## 【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。

e-learning プログラムの実施、および実施前後の質問紙調査、データの匿

名化までが企業側が担当し、匿名化されたデータの解析を東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野教室が担当します。よって、東京大学では個人同定可能な情報を扱いません。研究結果については学会発表や論文、当教室のホームページで公開させていただく予定です。

### 【個人情報の保護】

(研究計画書から、対象者にわかりやすく抜粋)

この研究に関わって収集されるデータ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。

あなたの情報・データ等は、**あなたの企業担当部署**に送られ保存されますが、送付前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、**研究責任者である川上憲人が東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻学精神保健/精神看護学分野研究室のLANに繋がれていないパスワードロックのかかるスタンドアローンのパソコン(S306)**で厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行うこともできます。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで **2017年5月29日まで**にご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻学精神保健/精神看護学分野研究室とインフォコム株式会社の共同研究費から支出されています。

尚、あなたへの謝金はございません。

### 【問い合わせ先】

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野・精神看護学分野

担当者：櫻谷あすか

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-5841-3364 FAX：03-5841-3392

メールでのお問い合わせ：[asuka@m.u-tokyo.ac.jp](mailto:asuka@m.u-tokyo.ac.jp)

※お問い合わせの際には、「オプトアウト」の件でお伝えいただき、1ページ目の**研究課題名と審査番号**をお知らせください。